

科目概要

<p>科目名</p>	<p>琉大特色・地域創生特別講義V「政策立案能力強化プログラム」(後学期)</p>
<p>授業内容 と方法</p>	<p>本科目では、SDGs(持続可能な開発目標)を手がかりに、リアルな地域課題から出発して政策を立案する力を養います。</p> <p>具体的には、沖縄市を事例に、地域活性化や地域経営の課題を発見し、「2030年にどのような地域になっていたか」という将来像から逆算して、政策を考えていきます。</p> <p>授業では、SDGsの目標を指標として用いながら、多様なステークホルダーが参加する合意形成プロセスの基本や、PDCA マネジメントサイクルにもとづく政策評価の考え方を学びます。</p> <p>そのうえで、グループでの話し合いを通して、課題の発見・探求から、解決策の立案、目標設定、評価方法までを一連のプロセスとして体験します。</p> <p>授業は、学生と社会人が混成のグループを組み、ディスカッションやワークに取り組むアクティブラーニング型で進めます。</p> <p>ファシリテーション・スキルの獲得にも重点を置き、教室全体で認識と成果を共有しながら、実践的な政策立案能力の向上を目指します。</p>
<p>授業計画</p>	<p>□Zoomを用いたオンラインに現地調査(沖縄市を予定)を加えたハイブリッド型授業です。 □授業のコミュニケーションツールとして「Slack」を用います。</p> <p>第1日(土)【第3時限～第5時限】</p> <p>第1回 授業オリエンテーション(授業の方法、日程と評価の基準)、公共政策と地域公共人材 第2回 公共政策の形成に必要な力とは 政策力：課題の発見から探求、解決策の立案、達成目標の設定と評価 地域マネジメントサイクルの中の政策形成</p> <p>第3回 政策形成の要点1＝政策の評価とフィードバックシステム ①沖縄県のPDCA マネジメントサイクルと沖縄振興計画 ②市町村のPDCA マネジメントサイクルと総合計画 ③SDGs＝国際レベルのPDCA マネジメントサイクル</p> <p>第2日(土)【第3時限～第5時限】</p> <p>第4回 政策形成の要点2＝価値前提と価値の実現 価値相互の矛盾 SDGsの目標及び指標を基準として、沖縄県の目標(課題)指標・方法を診る 一括交付金事業を例に市町村の目標・指標・評価の体系を診る</p> <p>第5回 政策立案の具体的なイメージの習得(SDGs カードゲームの実施) 沖縄市を対象とした政策立案グループワークへの導入</p> <p>第6回 SDGs 目標を具体的に体感することと政策立案のイメージ習得 (オリジナルSDGs カードゲームの作成) 価値相互の矛盾＝政策目標のトレードオフ関係を認知する</p> <p>第3日(土)【第2時限～第5時限】※現地調査(対面授業)</p> <p>第7回 政策立案グループワーク - 1 第8回 政策立案グループワーク - 2 第9回 政策立案の具体的方法</p> <p>第4日(土)【第3時限～第5時限】</p> <p>第10回 現地調査(グループワーク) - 1 第11回 現地調査(グループワーク) - 2 第12回 現地調査(グループワーク) - 3、中間報告と現地調査の振り返り</p> <p>第5日(土)【第4時限～第5時限】※対面授業(発表会)</p> <p>第13回 政策立案グループワーク - 3 第14回 政策立案グループワーク - 4 第15回 政策のプレゼンテーションとリフレクション</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究共創機構が取り組む社会人向け科目履修プログラムとして、自治体、NPO 法人や企業等の社会人に本プログラムを提供します。 ・本科目は「初級地域公共政策士」資格取得のための履修証明プログラムの必修科目です。